

19 保育士の確保について

長野県の状況

●女性の社会進出や堅調な雇用情勢等に伴う保育ニーズへの対応

- ・長野県では平成15年以來となる待機児童が発生（すべて3歳未満児）
- ・育児休業（民間企業の場合、多くは1年間）明けで仕事に復帰するため、3歳未満児の保育ニーズが急増
- ・特に年度途中からの保育需要に対して、必要な保育士の確保が困難

取組

○市町村と協働し、様々な保育士確保策を実施

- ・保育士人材バンクの設置
（R元年度実績：登録保育士数 300人、保育事業者とのマッチング数 82人）
- ・保育士養成校における学生向け就職向けガイダンスの開催
（R元年度実績：県内外 5校実施）

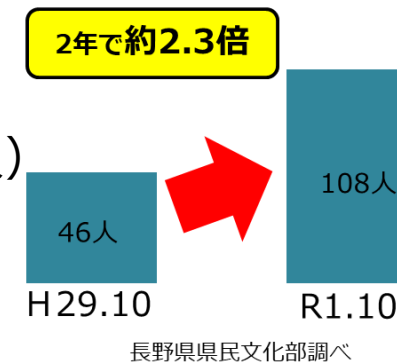
- ・待機児童発生地域へ保育士人材バンクのコーディネーターを1名増員
⇒ 待機児童発生市の保育事業者へのマッチング強化

- ・国の保育士修学資金貸付事業を実施
⇒ **修学資金を貸し付けた者の8割以上が県内保育所等へ就職**
（H31年3月養成校卒業生102人のうち82人）

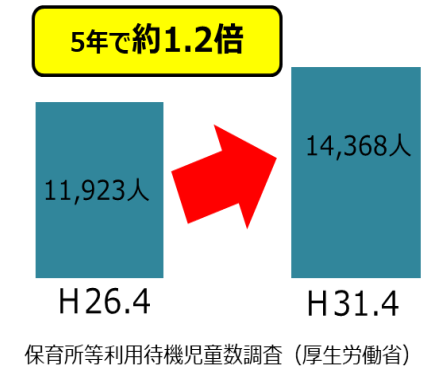
○勤務環境の改善

- ・保育補助者雇上費貸付事業
⇒ 保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士補助者の雇上に必要な費用を貸付

長野県の待機児童の状況



長野県の3歳未満児の申込児童数の状況



保育士人材バンク

保育士の仕事を志す皆さんへ！

令和2年度 長野県保育士修学資金貸付等事業のご案内

保育士資格取得のための学費を、無利子で貸付します！
長野県内で5年間児童の保護等に就いた方は返還免除となります！

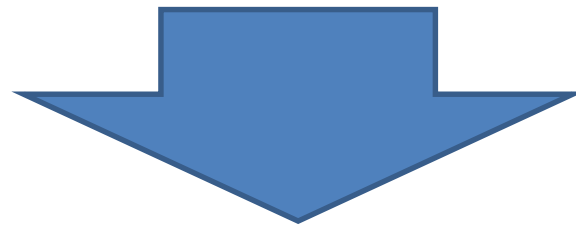
学年	貸付額及び貸付期間		
	1年生	2年生以上（※）	
通学区分	自宅生	自宅外生	自宅・自宅外生
学費相当（月額）	20,000円	30,000円	50,000円
入学準備金（入学年度に限る）	100,000円	100,000円	—
就職準備金（卒業年度に限る）	100,000円	100,000円	200,000円
生活費加算（生活保護受給世帯等のみ）	生活扶助基準の世帯（第1種）に属する額以内で、居住地及び年齢により異なります （※）長野市在住18歳の場合 年額459,480円以内		
貸付期間	2年以内	2年以内	1～2年以内

※令和2年度に新2年生以上になる方。（前年度に本貸付事業に申込みを行い貸付を受けられた方も再度申請できます。）

保育士修学資金貸付事業

課題

- **女性の就業支援や人手不足への対応として待機児童対策は重要かつ急務**
- 40代、50代の潜在的保育士の約7割は非常勤パートタイムを希望しており、マッチングによっては保育士への登用が可能
- 一方で、県内の保育士養成校では**定員を下回り**、卒業者も保育所等への**就職が6割程度**
保育士給与が低額であることが一因 保育士平均給与**23万円**（全職種平均給与**33万円**） **月額10万円の差!**
- 保育士修学資金貸付事業は、保育士の県内就職率の向上に有効。今後も安定的に事業を継続し、必要な対象者に貸し付けを行い、保育士確保を行う必要がある 貸付を受けた養成校卒業者の**県内保育所等への就職率80%以上**
- 今後の少子化を考慮すると、**一時的な保育ニーズ**に対応するために保育室に全国画一的な面積基準を課すことは、**将来的な過剰投資**につながる恐れがある



提案・要望

1 保育士の処遇改善のための財政措置

保育士の給与等の更なる処遇改善を図り、そのために**必要な財源措置**を行うこと。また、保育士確保に有効な取組である、**保育士修学資金貸付事業を継続し、必要な財源を確保すること**

2 保育に係る「従うべき基準」の見直し

市町村が柔軟に待機児童の発生抑制に取り組めるよう、**保育室の居室面積に係る「従うべき基準」については、「参酌すべき基準」に見直しを行うこと**